NO.

038

環境 昆虫食

Crickets on the Menu?

コオロギは食卓に並ぶか

英文の音声

レベル ★☆☆ 標準 | 300語 | 熟語13個 | 目標3分 | 読んだ日 | かかった時間 分 秒

1 For many people in Western countries and modern Japan, the idea of eating insects is unpleasant. They ❶**associate bugs with** dirt and disease. Yet around two billion people worldwide eat insects regularly, and in parts of Japan, such as Nagano, dishes made with grasshoppers or bee larvae have long been local specialties.

2 In 2013, a United Nations agency published a report arguing that insects could help feed the growing world population. ❷**In brief**, its argument was this: raising cattle requires huge amounts of land, water and feed, and it produces greenhouse gases. Insects such as crickets need far less of all three, yet they are rich in protein. Some experts ❸**see them as** a way to ❹**meet the world's needs** for protein without destroying more forests.

3 Getting people to eat them, however, is ❺**by no means** ❻**as easy as pie**. Few consumers are willing to ❼**take a chance** on a whole fried cricket. Companies have therefore begun grinding insects into powder and mixing it into cookies and pasta. Diners who refuse to eat a bug they can see may ❽**give a cricket cookie a try** if they do not have to look at the legs.

4 Still, insect snacks are unlikely to ❾**sell like hot cakes** soon. To ❿**convince shoppers of** their safety and taste, producers need clear labels and strict hygiene standards. Warnings are also needed, since people with shellfish allergies may react to insects.

5 Food habits can change. Raw fish was once considered strange in many Western countries; today sushi is popular around the world. Young people who ⓫**are keen on** trying new foods may lead the way. Whether people ⓬**decide on** insects ⓭**in place of** meat, or simply eat a little less beef, the question of how to feed nearly ten billion people is one we cannot ignore.

語注 **larva (複数 larvae)** 幼虫 **cattle** 牛（集合的に） **greenhouse gas** 温室効果ガス **protein** たんぱく質 **hygiene** 衛生 **allergy** アレルギー

この英文の熟語 IDIOMS 13個｜番号は英文の中の番号と同じ。覚えたら □ に印

1 associate A with B A で B を連想する □□□
A と B を結びつけて考える。受け身 be associated with ~（～と関連している）も頻出 例 *Many people associate summer with the beach.* 多くの人は夏と言えば海を連想する。

2 in brief 手短に □□□
in short / in a word と同じ。まとめや結論の前に置く 例 *In brief, the meeting was a success.* 手短に言えば、会議は成功だった。

3 see A as B A を B と見なす □□□
regard A as B / view A as B / think of A as B と同じ型。as の後は名詞・形容詞 例 *Some people see failure as a chance to learn.* 失敗を学ぶ機会と見なす人もいる。

4 meet one's needs ～の必要を満たす □□□
meet は「（要求・必要）を満たす」。meet the demand（需要を満たす）も同じ用法 例 *The new library meets the needs of the community.* 新しい図書館は地域の必要を満たしている。

5 by no means 決して～ない □□□
not ~ at all を強めた否定。by all means（ぜひどうぞ）と混同しない 例 *The problem is by no means simple.* その問題は決して単純ではない。

6 (as) easy as pie とても簡単な □□□
パイを食べるのは簡単→朝飯前。a piece of cake も同じ意味 例 *The quiz was as easy as pie.* その小テストはとても簡単だった。

7 take a chance 一か八かやってみる □□□
chance＝運・危険。take a chance on ~（～に賭けてみる）。take chances（危険を冒す） 例 *I took a chance and applied for the job.* 思い切ってその仕事に応募してみた。

8 give ~ a try ～を試してみる □□□
try を名詞で使う形。give it a try（やってみる）が定番。have a try も同じ 例 *This new app looks useful. Let's give it a try.* この新しいアプリは便利そうだ。試してみよう。

9 sell like hot cakes 飛ぶように売れる □□□
焼きたてのパンケーキがすぐ売れることから。主語は売れる商品 例 *The new game is selling like hot cakes.* その新しいゲームは飛ぶように売れている。

10 convince A of B A に B を確信させる □□□
of は「～について」。convince A that S V の形も多い。受け身 be convinced of ~（～を確信している） 例 *He convinced me of his innocence.* 彼は私に自分の無実を確信させた。

11 be keen on ~ ～に熱中している □□□
on の後は名詞・動名詞。be enthusiastic about / be eager to do と近い。主にイギリス英語 例 *My brother is keen on soccer.* 弟はサッカーに夢中だ。

12 decide on ~ ～に決める □□□
いくつかの選択肢から一つに決める。choose と近い。decide to do（～しようと決める）と区別 例 *We decided on the blue car.* 私たちは青い車に決めた。

13 in place of ~ ～の代わりに □□□
instead of ~ と同じ。in A's place の形もある。take the place of ~（～に取って代わる） 例 *You can use honey in place of sugar.* 砂糖の代わりにはちみつを使ってもよい。

内容一致問題 QUESTIONS

英文を読んで、それぞれの問いに対して最も適切なものを 1〜4 から 1 つ選びなさい。

問1 第1段落の内容と一致するものはどれか。

1. 日本の一部の地域では、昆虫を使った料理が昔から名物である。
2. 世界で昆虫を食べる人はほとんどいない。
3. 西洋の国々では昆虫が日常的な食べ物として人気がある。
4. 長野では昆虫を食べることが禁止されている。

問2 FAO の報告書の主張として、本文の内容と合わないものはどれか。

1. 牛を育てるには大量の土地や水が必要である。
2. 昆虫はたんぱく質が豊富である。
3. 昆虫は牛より少ない資源で育つ。
4. 昆虫を育てると温室効果ガスが牛より多く出る。

問3 Why have companies begun grinding insects into powder?

1. Because insect powder is cheaper than whole insects.
2. Because many consumers do not want to see the insects they eat.
3. Because the law requires insects to be sold as powder.
4. Because powder makes insects safe for people with allergies.

熟語チェック CHECK 意味に合う英語の熟語を書こう（答えは「熟語」のページ）

1 A で B を連想する
2 手短に
3 A を B と見なす
4 〜の必要を満たす
5 決して〜ない
6 とても簡単な
7 一か八かやってみる
8 〜を試してみる
9 飛ぶように売れる
10 A に B を確信させる
11 〜に熱中している
12 〜に決める
13 〜の代わりに

背景知識 2013 年、国連食糧農業機関（FAO）は昆虫を食料や家畜のえさとして活用する可能性をまとめた報告書を出し、世界で約 20 億人が昆虫を食べていると紹介した。昆虫は牛に比べて少ない土地・水・えさで育ち、温室効果ガスの排出も少ないとされる。日本でもイナゴのつくだ煮やハチの子は伝統食である。一方で、見た目への抵抗感や、甲殻類アレルギーの人が反応するおそれなど課題もある。入試では「食料問題と環境」「食文化は変化する」という論点がよく出る。

全訳 TRANSLATION 色の太字は熟語の部分

1 西洋の国々や現代の日本の多くの人にとって、昆虫を食べるという考えは不快なものだ。彼らは**虫から**汚れや病気**を連想する**。しかし世界では約20億人が日常的に昆虫を食べており、日本でも長野などの地域では、イナゴやハチの幼虫を使った料理が昔から郷土の名物になっている。

2 2013年、国連の機関である国連食糧農業機関（FAO）は、昆虫が増え続ける世界の人口の食料をまかなう助けになりうると論じる報告書を発表した。**手短に言えば**、その主張はこうだ。牛を育てるには大量の土地と水とえさが必要で、温室効果ガスも出る。コオロギなどの昆虫はそのどれもはるかに少なくてすむうえ、たんぱく質が豊富である。これ以上森を壊さずに**世界の**たんぱく質の**必要を満たす**方法**として、昆虫を見る**専門家もいる。

3 しかし、人々に昆虫を食べてもらうのは**決して簡単ではない**。丸ごと揚げたコオロギに**挑戦して**みようという消費者はほとんどいない。そこで企業は、昆虫を粉にひいてクッキーやパスタに混ぜるようになった。目に見える虫は食べたくないという人でも、脚を見なくてすむなら**コオロギのクッキーを試して**みるかもしれない。

4 それでも、昆虫のおやつが近いうちに**飛ぶように売れる**ことはなさそうだ。**買い物客に**安全性とおいしさ**を納得させる**には、分かりやすい表示と厳しい衛生基準が必要になる。甲殻類アレルギーの人は昆虫に反応することがあるので、注意書きも必要だ。

5 食の習慣は変わりうる。生魚はかつて多くの西洋の国々で奇妙なものと考えられていたが、今日、すしは世界中で人気がある。新しい食べ物を試すこと**に熱心な**若者が先頭に立つかもしれない。人々が肉**の代わりに**昆虫**を選ぶ**にせよ、単に牛肉を少し減らすにせよ、100億人近い人々をどう養うかという問題は、私たちが無視できないものなのである。

要旨 昆虫は少ない資源で育つたんぱく源として期待されているが、多くの人の抵抗感が大きな壁になっている。粉末にするなどの工夫や安全性の表示を通じて、食の習慣が変わる可能性がある。

解答・解説 ANSWERS

問1 1 **問2 4** **問3 2**

問1 正解 1 根拠は第1段落の in parts of Japan, such as Nagano, dishes made with grasshoppers or bee larvae have long been local specialties（長野などではイナゴやハチの幼虫の料理が昔から名物）。よって 1 が正解。2 は around two billion people ... eat insects regularly（約20億人が日常的に食べる）と逆。3 は西洋の国々では昆虫を食べる考えが不快とされているので誤り。4 の禁止は本文にない。

問2 正解 4 第2段落によると、牛を育てるには huge amounts of land, water and feed が必要で greenhouse gases も出る一方、昆虫は need far less of all three, yet they are rich in protein（三つともはるかに少なくてすみ、たんぱく質が豊富）。1・2・3 は本文どおり。温室効果ガスは牛について述べられた問題であり、昆虫のほうが多いという記述はないので、合わないのは 4。

問3 正解 2 第3段落の流れは、Few consumers are willing to take a chance on a whole fried cricket（丸ごとのコオロギに挑戦したがる人は少ない）→ therefore（だから）粉末にする→ if they do not have to look at the legs（脚を見なくてすむなら試すかも）。よって 2 が正解。1 の値段、3 の法律は書かれていない。4 は第4段落で、アレルギーの人は昆虫に反応しうるので注意書きが必要だと述べており、粉末で安全になるわけではない。